

令和2年度（令和元年度対象）

教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価に関する報告書

令和2年11月

常陸太田市教育委員会

目 次

I. 教育委員会施策の点検・評価の概要	1
II. 施策別点検・評価	
教育委員会施策の点検・評価書（令和元年度事業）	5
（施策名）	
1 地域資源に磨きをかけた観光の振興	5
2 子育てへの支援	6
3 豊かな心の育成	8
4 魅力ある学校づくり	10
5 多様な学習機会の支援	12
6 スポーツ・レクリエーション活動への支援	14
7 結婚・定住の推進	15
8 市民の地域活動への支援	16
9 犯罪のないまちづくり	17
参考 教育委員会の活動状況	18

令和2年度教育委員会施策の点検・評価(令和元年度事業)の概要

1. 趣旨

- 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定に基づき、市教育委員会が、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行う。

2. 点検・評価の目的

- 教育委員会における主要な施策や事務事業について点検・評価を行い、課題や取組みの方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の一層の推進を図る。
- 点検・評価の結果について報告書を作成し議会に提出するとともに、公表することにより、市民への説明責任を果たし市民に信頼される教育行政を推進する。

3. 点検・評価の対象

- 令和元年度施策を点検・評価する。
 - ・常陸太田市第6次総合計画前期基本計画における教育委員会所管の9施策

4. 点検・評価の方法

- 施策を構成する主な事務事業の評価を基に、施策の目標達成に向けた取組状況と成果の点検・評価を実施する。
- 学識経験者による教育行政評価委員が、施策評価や施策の改善点等について審議する。

（1）事務事業の評価

- 施策の目標達成のために行った主な事務事業について、その成果や課題を精査検証し評価する。
- 評価については、「A 期待した成果があった」、「B 一定の成果があった」及び「C 見直しや改善が必要」の3段階で評価する。

（2）施策の総合評価

- 事務事業の評価結果を踏まえ、施策全体の総合的な成果を評価する。
- 評価については、「A 期待した成果があった」、「B 一定の成果があった」及び「C 見直しや改善が必要」の3段階で評価する。
- 今後の方向性を明確にするため、「課題と今後の方向」を記載する。

（３）学識経験者の知見の活用

○点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する教育行政評価委員の審議を行う。

○教育行政評価委員（敬称略）※

分 野	氏 名	所属等
学校教育	岡部 昌見	元学校長
社会教育	豊田 一	社会教育委員会議長
保護者関係	小林恵美子	市女性ネットワーク委員会委員長（誉田小）

（参考：令和元年度）

分 野	氏 名	所属等
学校教育	岩間 敦子	元学校長
社会教育	豊田 一	社会教育委員会議長
保護者関係	宮本 美幸	市女性ネットワーク委員会委員長（金砂郷小）

５．点検・評価結果の公表等

（１）議会への提出

○点検・評価の結果について報告書を作成し、市議会に提出する。

（２）市民への公表

○報告書を市ホームページにより公表する。

6. 点検・評価結果の概要（令和2年度（令和元年度対象））

○主な事務事業の評価結果を踏まえ、施策全体の総合的な成果を、「A 期待した成果があった」、「B 一定の成果があった」及び「C 見直しや改善が必要」の三段階で評価した。

総合計画における教育委員会所管の9施策（令和2年度（令和元年度対象））

	基本施策	施策の 総合評価	事 務 事 業	事務事業 評価	
				所管課	委員会
1	地域資源に磨きをかけた観光の振興 (4事業)	B	1 指定文化財整備（文）	B	B
			2 西山荘保存活用（文）	B	B
			3 市内遺跡調査（文）	—	—
			4 文化財保護（文）	B	B
2	子育てへの支援 (4事業)	A	1 幼稚園保育料の無料化・給食費無償化及び一部補助（教）	B	A
			2 図書館子育て支援（図）	A	A
			3 市立幼稚園・小中学校給食費の軽減（給）	A	A
			4 放課後子ども教室（生）	B	B
3	豊かな心の育成 (3事業)	B	1 学校図書整備（小学校・中学校）・みんなにすすめたい一冊の本推進事業・図書館ネットワーク事業（教・指・図）	B	B
			2 あたたかな人づくり推進事業（指）	B	B
			3 人権啓発推進（生）	A	A
4	魅力ある学校づくり (7事業)	B	1 3歳児クラスT T配置（教）	B	B
			2 市立幼稚園特別支援指導員配置（教）	B	B
			3 小学校T T特別配置（指）	B	B
			4 小学区特別支援教育指導員配置（指）	B	B
			5 学校統廃合（教）	B	B
			6 活力ある学校づくり推進事業（小学校・中学校）（指）	A	A
			7 学校給食における地場産物利用促進（給）	B	B
5	多様な学習機会の支援 (3事業)	B	1 公民館地域活性化推進（生）	B	B
			2 地域資源活用講座事業（生）	B	B
			3 公民館整備（生）	B	B

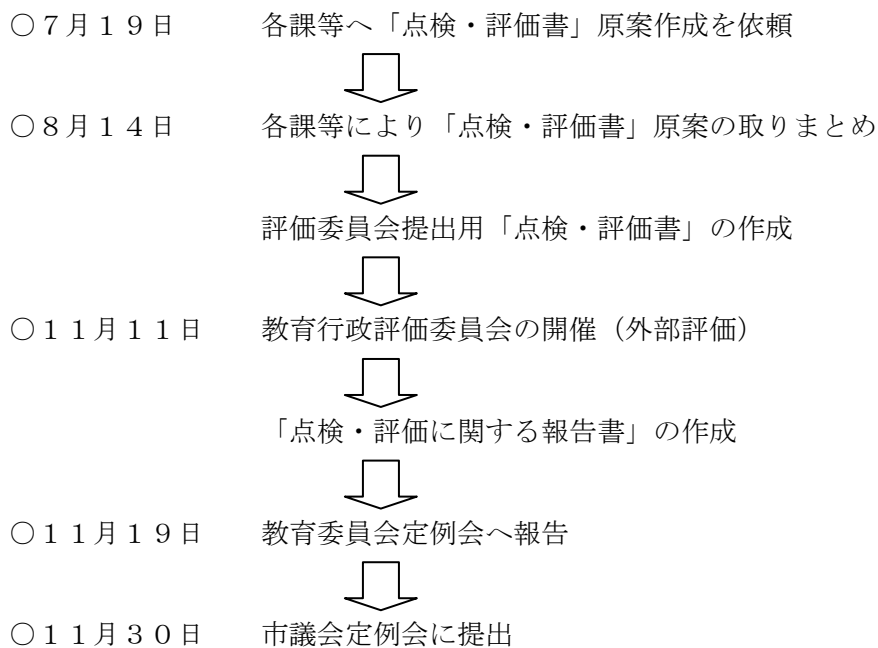
6	スポーツ・レクリエーション活動への支援 (2事業)	B	1 ラジオ体操普及推進事業(ス)	B	B
			2 スポーツ施設整備(運動公園整備事業)(ス)	B	B
7	結婚・定住の推進 (1事業)	B	1 移住・定住者への奨学資金返還助成制度(教)	B	B
8	市民の地域活動への支援 (1事業)	B	1 エコミュージアム活動の推進(文)	B	B
9	犯罪のないまちづくり (1事業)	B	1 子どもの安全対策強化(教)	B	B

計26事業

7. 施策別点検・評価

○別紙「教育委員会施策の点検・評価書(令和元年度事業)」による。

8. スケジュール



教育委員会施策の点検・評価書(令和元年度事業)

担当課	文化課

総合計画 における 位置づけ	基本目標	安心して働くことのできる仕事の場づくり
	政策	産業振興と新たな雇用創出による仕事の場づくり
	基本施策	地域資源に磨きをかけた観光の振興
		(1) 地域資源を活かした誘客促進
		(2) 魅力ある観光地域づくり
	施策の概要	・地域資源や地域特性を活用したイベントの開催。 ・自然、歴史、観光資源の発掘、活用による地域の魅力向上。

施策に対する 事務事業 の概要・ 成果・評価	事務事業名	事務事業の概要	主な成果	担当課 評価	委員会 評価
	①指定文化財整備	・文化財を保護保存し、多くの方が訪れてくれるよう、定期的な整備を行うため、所有者に対し補助金を交付。 ・老朽化した文化財説明看板を更新する。	・説明看板の更新については、山寺水道、旧久昌寺跡、中野富士山、永田円水の墓の更新を行った。	B	B
	②西山荘保存活用	・保存活用計画に基づき、西山御殿跡(西山荘)の保存及び活用を図り、誘客促進を図る。	・史跡を所有する徳川ミュージアムへ、整備基本計画の策定及び危険木伐採工事・法面崩落箇所土留工事、園路整備に対する補助金の交付を行った。 西山御殿来訪者数は、15,310人	B	B
	③市内遺跡調査 (梵天山古墳周辺の保存活用)	・梵天山古墳周辺史跡のR4国指定申請に向け、H29から5か年計画で各種調査を行う。	・重要遺跡調査委員会の指導のもと高山塚古墳の確認調査(2期)を実施し、墳形が円墳であることが確定した。	—	—
	④文化財保護 (指定文化財集中曝涼)	・指定文化財の保護と活用を図るため、集中曝涼として一般公開を開催する。	・10/19・20の2日間のうち、19(土)は台風19号の被害拡大が懸念されるため中止し、20(日)のみ実施。19箇所公開予定で17箇所を実施し、来訪者は3,431人。	B	B

施策の成果 を示す 主な指標	指標名(単位)	H29	H30	R1	担当課 評価	委員会 評価
	指定文化財来訪者数(人)	今後来訪者数の把握に努めます。			—	—
	西山御殿(西山荘)来訪者数(人)	28,529	23,400	15,310	B	B
	集中曝涼来訪者数(人)	3,109	8,491	3,431	B	B

施策の 総合評価	A 期待した成果があった	B 一定の成果があった	C 見直しや改善が必要
事務局評価		○	
委員会評価		○	

課題と 今後の方向	地域の宝である文化財の価値や重要性を、地域の方々に理解していただき文化財を守り保護をする意識の醸成に努めていく必要がある。文化財の修繕や保護を行いながら、公開による積極的な活用を図っていく。
--------------	---

教育行政 評価委員 による意見	・案内看板を工夫するなど、更なる観光客の誘客及び交流人口の拡大に図られたい。 ・集中曝涼の開催にあたっては、ボランティアの協力も必要である。 ・「集中曝涼」という行事名を市民になじみやすいものにしてはどうだろうか。
-----------------------	---

教育委員会施策の点検・評価書(令和元年度事業)

担当課	教育総務課
	図書館
	学校給食センター
	生涯学習課

総合計画 における 位置づけ	基本目標	夢を育み健やかに生きるひとづくり
	政策	安心して子育てのできる環境づくり
	基本施策	子育てへの支援
		(1)子育て家庭への支援
		(2)地域ぐるみの子育て支援
	施策の概要	・子育て家庭への経済的支援を充実。 ・子育てに関する学習機会や情報提供の充実を図るとともに、交流の場の確保。 ・すべての子どもが放課後に安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことが出来るような居場所の確保・充実。

	事務事業名	事務事業の概要	主な成果	担当課 評価	委員会 評価
施策に対する 事務事業 の概要・ 成果・評価	幼稚園保育料の無料化	幼稚園に通う園児の保育料を無料としている。	市内公立幼稚園及び市外幼稚園に通園する市内在住の園児に対し、保育料の支援を実施し、各家庭の経済的支援が図られた。今後も少子化対策としての成果はすぐには表れないため、継続していく必要がある。	B	A
	給食費無償化及び一部補助	①市外保育の低所得者及び第3子以降園児の給食費無償化 ②上記①以外の園児に対し、市外保育の規定額(2,100円)超過分の補助	市外の幼稚園に通園する、市内在住の園児に対し給食費の無償化に向けた支援を実施し、各家庭の経済的負担の軽減が図られた。今後も少子化対策としての成果はすぐには表れないため、継続していく必要がある。	B	A
	図書館子育て支援(ブックスタート)	乳児健診(3～5ヶ月)会場に出向いて実施する。乳児健診対象者にブックスタートパック(トートバック、絵本2冊)を贈呈し、図書館ボランティアが読み聞かせやアドバイスをを行う。	絵本を介してあかちゃんと保護者が心触れ合うひとときを持つきっかけとなっている。また、図書ボランティアが行うことで、地域が子育てを応援していることを自然な形で伝えられている。 令和元年度対象者…210名 令和元年度受領者…189名(実施日170名 後日15名 転入4名)。乳児健診(前期3～5ヶ月)相談日に来なかった方には、個別に連絡を行った。	A	A
	図書館子育て支援(あかちゃんタイム、ママ・プレママサロン)	保護者があかちゃんの泣き声などに気兼ねなく図書館を利用できる時間帯(あかちゃんタイム)を設けている。(毎月第1・3木曜日午前10時30分～正午)あかちゃんタイムの時間帯にあわせて図書館ボランティアによる読み聞かせや妊娠・出産・育児等の本の紹介、ママさんの情報交換の場の設定をする。	あかちゃんタイム実施により、親子で図書館を訪れやすい環境をつくり、ママ・プレママサロンにおいて、読み聞かせや、妊娠・出産・育児等の本や雑誌の提供を行い、保護者たちの情報交換の場の設定等、安心して子育てのできる環境づくりができた。 令和元年度 参加者数:延べ217名	A	A
	市立幼稚園・小中学校給食費の軽減	市立幼稚園・こども園の園児及び小学校の児童・中学校の生徒に対する給食費を1/2に減額及び市立幼稚園・こども園の第3子以降は無償(令和元年10月より国の制度改正により、低所得世帯も無償)。	給食費の減額及び無償により、子育て家庭への経済的支援を行い、子育て世帯から感謝の声をいただいている。今後もアンケート調査などを行い、引続き子育て世帯への経済的支援が図られるよう努めていく。	A	A

	放課後子ども教室	・放課後の小学生の活動場所として、ボランティアが子どもたちの安全を見守りながら一緒に活動し、子供たちが安心して自由に「学び」「体験」「交流」「遊び」ができる環境をつくる。	・市内全小学校区で実施 6小学校区…週1回、4小学校区…週2回 2小学校区…週3回 ※実施日数621日、参加児童数223人 ボランティア登録人数(年々減少傾向) ・ボランティアとの交流により児童が放課後の一時を生き生きと過ごす事が出来ている。 ・加入している児童の保護者からは、「ボランティアさんに宿題等勉強を見てもらい、助かっている。」等の声が聞かれる。 ・今後もお知らせ版等を活用し、ボランティアの確保に努める。	B	B
--	----------	---	---	---	---

施策の成果を示す 主な指標	指標名(単位)	H29	H30	R1	担当課 評価	委員会 評価
	幼稚園保育料無料化の減免認定者数(人)			196	B	A
	市外保育の低所得者及び第3子以降園児(人)			6	B	A
	市外保育の規定額(2、100円)超過分の補助(人)			5	B	A
	ブックスタートパック贈呈率(%)	95	93	90	A	A
	あかちゃんタイム、ママ・プレママサロン参加者数(人)	387	261	217	A	A
	学校給食費減額対象者数(人)	3,357	3,213	3,126	A	A
	放課後子ども教室の連携数(箇所)	13	12	12	B	B

施策の 総合評価	A 期待した成果があった	B 一定の成果があった	C 見直しや改善が必要
事務局評価		○	
委員会評価	○		

課題と 今後の方向	令和元年度から、国の施策に基づき幼稚園児(3歳児以降)の保育料を無料化としており、子育て世代の経済的負担の軽減を図る施策として有効に機能していると考えられる。今後も継続していく必要がある。
	子どもたちの本への親しみを継続させ保護者同士が交流できる環境を提供すると共に図書館の利用促進を図るため現行の事業を継続する。ブックスタートパックの未受領者については個別に案内を行う。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら新しい生活様式に対応できるよう各事業を実施していく。
	令和2年4月から市内在住の幼稚園とこども園の園児の給食費を無償とした。引続き子育て世帯への経済的支援が図られるよう努めるとともに、保護者に対し軽減化の趣旨を伝えることや、給食についてのアンケート調査を行っていく。 ・放課後の安心・安全な居場所づくりとして、今後も事業を継続していく。 ・放課後児童クラブと連携をし、本事業の充実を図る。 ・ボランティアの確保が課題である。お知らせ版等を活用し、ボランティアの確保に努める。

教育行政 評価委員 による意見	・子育て支援の各施策に対する成果が表れている。 ・給食費の未納については、学校と連携し徴収事務に努められたい。 ・コロナ禍で、子育て世代への更なる経済的負担の軽減を図られたい。 ・放課後児童クラブのボランティア確保については、お知らせ版のほか、コミュニティや公民館組織の活用に図られたい。
-----------------------	---

教育委員会施策の点検・評価書(令和元年度事業)

担当課	教育総務課
	指導室
	図書館
	生涯学習課

総合計画 における 位置づけ	基本目標	夢を育み健やかに生きるひとづくり
	政策	郷土を愛し未来を拓くひとづくり
	基本施策	豊かな心の育成
		(1)感性や創造力向上推進
		(2)人権や福祉に関する活動の機会を通して、思いやりのある心や命を大切にする心の育成。
	施策の概要	・学校図書の充実や図書館と学校図書館のネットワーク化を図り、子どもたちの読書活動を推進。

施策に対する 事務事業 の概要・ 成果・評価	事務事業名	事務事業の概要	主な成果	担当課 評価	委員会 評価
	学校図書整備(小学校・中学校)	文部科学省が設定する学校図書館の図書標準冊数(学級数により異なる)を達成するため、計画的に図書整備を行う。	図書標準冊数は、平成24年度より基準を満たしている。 図書購入費の継続的な確保により、経年劣化した図書の廃棄や新規図書の購入など、定期的な入替えが実現できている。	B	B
	みんなにすすめたい一冊の本推進事業	小学生は年間50冊、中学生は年間30冊以上の本を読んだ児童生徒に賞状の授与を行い読書活動の活性化を図る。	数値目標を掲げることで、児童生徒の読書意欲が喚起され、読書活動の推進が図られた。また、読書を通して、国語力の育成と心の教育の推進が図られた。 ○みんなにすすめたい一冊の本事業 ・小学校(50冊以上)…91.2% ・中学校(30冊以上)…30.6%	B	B
	図書館ネットワーク事業	小・中学校と連携し、読書用図書や授業教材として使用する図書を、学校単位で団体貸し出しを実施する。	各学校の要望に応え、読書用図書を教室に配置するとともに、教材用図書を提供し、教育の充実に努めた。	B	B
	あたたかな人づくり推進事業	規範意識の醸成と安心して学べる学校、学級づくりの推進	各学校でQUアンケートを実施し、その結果の分析により、児童生徒の居場所づくりや活躍の場の位置付けに役立った。	B	B
		学校全体で取り組む道徳教育、人権教育の充実	学習指導や学級経営の基盤となる人権教育や道徳教育の推進により、各学校で豊かな心の育成に努め、全小中学校で人権教室や人権集会が実施された。	B	B
		親子ともみがき活動の展開による家庭教育の充実	親子ともみがき活動を家庭・地域との連携による教育効果の向上の機会と捉え、積極的な推進が図られた。	B	B

	人権啓発推進	・人権について関心を高めるために、毎年人権週間にあわせて「ハートフルフェスタひたちおおた」を開催している。	・人権を担当する教育委員会各関係課、市長部局関係課及び関係機関・団体等との連携のもと、人権教育・啓発イベントや各キャンペーンでの啓発活動、人権教育研修会への参加等により、人権教育・啓発事業を推進することができた。	A	A
--	--------	---	--	---	---

施策の成果を示す主な指標	指標名(単位)	H29	H30	R1	担当課評価	委員会評価
	学校図書館図書標準充足率(小・中学校平均)	150%	153%	142%	B	B
	小学生(4・5・6年)年間で50冊本を読んだ児童率	89.1%	95.8%	91.2%	A	A
	中学生(1・2・3年)年間で30冊本を読んだ生徒率	38.30%	39.20%	30.6%	B	B
	小・中学校への団体貸出し冊数	6,169冊	5,619冊	5,094冊	B	B
	「学校が楽しい」と答える児童生徒の割合	93%	94%	93%	A	A
	全国学力学習状況調査アンケート「今住んでいる地域の行事に参加していますか」児童生徒割合	53%	56%	67%	B	B
	小学校・中学校における人権教室や人権集会等の実施率(%)	100%	100%	100%	A	A

施策の総合評価	A 期待した成果があった	B 一定の成果があった	C 見直しや改善が必要
事務局評価		○	
委員会評価		○	

課題と今後の方向	子どもたちの感性や創造力向上を推進する読書活動の拠点となる学校図書の充実を図るため、学校規模及び整理状況に応じた図書整備を今後も定期的に行う必要がある。 読書活動の推進に向けては、児童生徒に本を身近に親しませるための環境の工夫や読書活動を活性化させる働きかけ等、学校の実態に応じた取組を司書教諭と連携し推進する必要がある。 スマホ所持率の増加によって、ネット起因のトラブルが増え、対応の複雑化がある。そのため、メディア教育指導員等を活用し、情報モラルに関する危機意識の向上を図っていく必要がある。 図書館で所蔵する図書資料を、読書用図書や教材用図書として活用されるよう、引き続き学校図書司書や教科担当との連携を図る。 ・人権週間にあわせ、ハートフルフェスタひたちおおたを継続して実施していく。 ・庁内各課との連携により、様々な啓発手法を用いて、地域や家庭、職場などを巻き込み、市民一人一人の人権意識の高揚を図る必要がある。
----------	---

教育行政評価委員による意見	・図書館のネットワークについては、図書館司書と学校司書との更なる連携に努められたい。 ・人権啓発推進については、関係機関との連携を図り、更なる成果に繋がるよう努められたい。 ・「ハートフルフェスタひたちおおた」は大変好評であり、学校にも協力をいただいているが、役員ばかりでなく、みんなが参加できるような工夫に努められたい。
---------------	--

教育委員会施策の点検・評価書(令和元年度事業)

担当課	教育総務課
	指導室
	学校給食センター

総合計画 における 位置づけ	基本目標	夢を育み健やかに生きるひとづくり
	政策	郷土を愛し未来を拓くひとづくり
	基本施策	魅力ある学校づくり
		(1)特別支援教育の充実
		(2)教育環境の整備・充実
		(3)特色ある学校づくりの推進
		(4)食育の推進
施策の概要	・支援を必要とする幼児、児童・生徒一人一人に応じた適切な指導。 ・多様なニーズと地域性に配慮した幼稚園、小・中学校の規模・配置の適正化。 ・各学校において、全国学力・学習状況調査、学力診断のためのテストや体力テスト等の分析をもとにした、活力ある学校づくりを推進。 ・地産地消による安全な農産物の種類や量の安全確保により、食育を推進。	

施策に対する 事務事業 の概要・ 成果・評価	事務事業名	事務事業の概要	主な成果	担当課 評価	委員会 評価
	3歳児クラスTT配置	3歳児11名につきTT講師を1名配置している。担任教諭の補助として園児を指導している。	園児と教諭、保護者との関係構築が図られ、また、園児は集団生活での適応性が確保され、教育上の効果が期待できた。	B	B
	市立幼稚園特別支援指導員配置	特別支援教育を要する児童について、園長から配置要望を受け、関係機関との協議のうえ配置している。	園児と教諭、保護者との関係構築が図られ、また、園児は集団生活での適応性が確保され、教育上の効果が期待できた。	B	B
	小学校TT特別配置	各学校で課題が見られる教科や学年に配置し、効果的に活用する。	複数の指導者による支援は、児童生徒一人一人の実態に応じたきめ細かな対応が可能となり、学習意欲の向上に効果があった。	A	A
	小学校特別支援教育指導員配置	複数の指導者による支援は、児童生徒一人一人の実態に応じたきめ細かな対応が可能となり、学習意欲の向上に効果が大きい。	対象児童生徒に対する適切な個別支援が進められており、学習機会の保障及び学校生活における安全確保が図られた。	B	B
	学校統廃合	令和4年4月開校に向け、「峰山中学校区小学校(西小沢小・幸久小・佐竹小)」及び「金砂郷中学校区小学校(金砂郷小・郡戸小・久米小)」の統廃合を進めていく。	計画改訂版策定後、対象学校区の保護者や地域住民に対し説明会や懇談会を実施し、その周知を図った。 【令和元年度:説明会・懇談会開催回数】 ・「峰山中学校区小学校」→17回 ・「金砂郷中学校区小学校」→9回	B	B

	活力ある学校づくり推進事業	学校としての特色と学校の教育目標の具現化を明確に打ち出した教育活動を充実させる。	学校の主体的な教育実践による学校の活性化(地域の教育力の活用、市学校教育指針の具現化、効果的な学校評価の実践等)に効果があった。	A	A
			児童生徒一人一人の実態や地域の実態に応じた教育効果の向上が見られた。(学力向上、道徳的实践力の育成、家庭学習の習慣化、体力の増進、郷土を愛する心)	A	A
	学校給食における地場産物利用促進	地元産米コシヒカリ及び地元産の野菜等を給食食材として使用する。 ・米飯給食の促進 ・米粉パン月2回	・地場産物のコシヒカリ米や地元産野菜等の食材導入により、子どもたちが地域との愛着や関心を高め、安全安心な学校給食に活かしている。	B	B

施策の成果を示す 主な指標	指標名(単位)	H29	H30	R1	担当課 評価	委員会 評価
	3歳児TT講師配置人数	7	5	2	B	B
	市立幼稚園特別支援指導員配置人数	17	12	12	B	B
	小学校TT配置学校数	9	9	10	A	A
	小学校特別支援教育指導員の配置人数	19	19	19	B	B
	体力テスト総合評価(A+B)の児童生徒の割合	67%	66%	66%	B	B
	活力ある学校づくりの学校関係者評価(4段階)	3.9	3.9	3.9	A	A
	「授業がわかる」と答える児童生徒の割合	94%	94%	94%	A	A
	「学校が楽しい」と答える児童生徒の割合	93%	94%	93%	A	A
	地元食材の自給率(青果物等)(%)	52%	47%	47%	B	B

施策の 総合評価	A 期待した成果があった	B 一定の成果があった	C 見直しや改善が必要
事務局評価		○	
委員会評価		○	

課題と 今後の方向	・【市立幼稚園TT・特別支援指導員配置】初めて幼稚園に入園する園児にとって、個々の面倒を見てもらえるTT講師が配置されることによって、安定した園生活ができている。また、園児の生活の様子(生活習慣・行動・遊び・運動・対人コミュニケーション等)を把握し、必要に応じ特別支援指導員を配置していくとともに、園児の発達段階に応じた対応もさまざまであることから、特別支援指導員等の質の向上を図るための研修の機会を積極的に確保していく必要がある。 ・【学校統廃合】今後とも統合に係る諸事項について、庁内関係部署及び関係者(該当校の校長・教頭・PTA正副会長・地域住民代表者・市教育委員)で話し合いをもち検討していく。
	児童生徒の学習の保障や学校生活の充実のため、TTによる少人数指導や学習支援の充実、また、教育的なニーズに応じた特別支援教育の充実を図り、引き続き誰もが「授業がわかる」、「楽しい学校」を目指す。 感染症対策を行う中、今後も体力の向上と食育の充実は必要である。活動方法や場の工夫、関係機関との連携等を積極的に行うなどして充実を図る。 ・JA常陸及び地元産食材取扱業者との連携を図り、今後とも地元産の食材を積極的に取り入れていく。地元食材にこだわった特別メニューを提供する「地産地消の日」の回数(年11回)を増やし、児童生徒の地域への愛着を高めていく。令和2年度より地元産チーズを給食に提供し、今後も地場産物を取り入れるよう努めていく。

教育行政 評価委員 による意見	・先生数が少ない幼稚園への対応策として、TTの配置等について検討いただきたい。 ・学校統廃合については、丁寧な説明が必要であり、子ども達の教育環境の確保に努められたい。
-----------------------	--

教育委員会施策の点検・評価書(令和元年度事業)

担当課	生涯学習課
	生涯学習センター

総合計画 における 位置づけ	基本目標	夢を育み健やかに生きるひとづくり
	政策	夢と生きがいをもって活躍するひとづくり
	基本施策	多様な学習機会の支援
		(1)生涯学習活動機会の充実
	施策の概要	地域人材・地域資源などを活用した学習プログラムやエコミュージアム活動などを通して、地域を知る学習機会の充実に努める。

施策に対する 事務事業 の概要・ 成果・評価	事務事業名	事務事業の概要	主な成果	担当課 評価	委員会 評価
	公民館地域活性化推進	・地区公民館活動の活性化を図るとともに、公民館職員の研修や講演会を実施。 ・各分野バランスのとれた一般教養・家庭教育、健康、女性、青少年、高齢者、スポーツ・コミュニティ、趣味の7つの分野に分けた教室・講座等を開催する。	・地域コミュニティの振興やネットワークの強化を図り、「人づくり」「まちづくり」に資するため、市内13の公民館において、207種の教室、講座を運営し、開催延回数1,641回、31,385人の参加者があった。	B	B
	地域資源活用講座事業	・地域を知る学習機会の充実をはかるため、地域資源(物・人)を活用した歴史講座や自然講座等を開催する。	・4地区の学習センターで、11の講座を開催した。受講者数は1746人で、昨年(742人)より1004人増加した。地域資源を活用した健康に対する意識向上及び地域を知る学習機会の提供となった。	B	B
	公民館整備	・公民館の利便性の向上を図るため、優先順位を決定して計画的な施設整備を行う。	・施設・設備を整備することにより、地域における社会教育・生涯教育の拠点としての公民館の機能向上が図られた。 ・太田、佐竹公民館会議室床(カーペット)張替え修繕 ・世矢公民館 駐車場舗装工事 等	B	B

施策の成果 を示す 主な指標	指標名(単位)	H29	H30	R1	担当課 評価	委員会 評価
	公民館事業参加者数(人)	32,671	34,420	31,385	B	B
	年間参加者数(人) 生涯学習講座・教室事業	3,773	4,044	4,234	B	B
	公民館整備事業件数(件)	1	2	2	B	B

施策の 総合評価	A 期待した成果があった	B 一定の成果があった	C 見直しや改善が必要
事務局評価		○	
委員会評価		○	

課題と 今後の方向	【公民館地域活性化推進】 ・世代間交流事業などに取り組むことが困難な地域もあるが、広域的な事業の取り組みや地域間交流など、新たな事業展開への取り組みも見受けられる。 ・地域特性を生かし、ニーズに合った公民館活動が重要である。現在、新たなコミュニティへの移行を検討している地区もあるので、地域・関係各課との調整を図りながら進めていく。 【地域資源活用講座事業】 ・地域の資源等を活用した講座の開催については、マンネリ化し飽きられないように、アンケートや要望等を取り入れ、内容の見直し等を行い、積極的に講座を実施していく。 【公民館整備】 ・優先順位を検討しながら計画的な施設整備を行う。 ・常に施設管理を的確に行い、施設利用者の利便性を図っていく。
教育行政 評価委員 による意見	・地域資源活用講座事業については、アンケートや要望等を取り入れ、講座を増やし実施するなど推進に努められたい。 ・現在、公民館とコミュニティの2つが存在しているため、担当課と連携し1本化できるよう更なる推進に努められたい。

教育委員会施策の点検・評価書(令和元年度事業)

担当課	スポーツ振興課

総合計画 における 位置づけ	基本目標	夢を育み健やかに生きるひとづくり
	政策	夢と生きがいをもって活躍するひとづくり
	基本施策	スポーツ・レクリエーション活動への支援
		(1)生涯学習活動機会の充実
		(2)施設の充実と有効活用
	施策の概要	・市民が年齢や体力に応じてスポーツ・レクリエーション活動に積極的に参加し、楽しむことができるよう各種事業を推進。 ・老朽化したスポーツ施設について、緊急性の高いものから計画的に改修。

	事務事業名	事務事業の概要	主な成果	担当課 評価	委員会 評価
施策に対する 事務事業 の概要・ 成果・評価	ラジオ体操普及推進事業	市スポーツ推進委員協議会、関係課と連携を図り、ラジオ体操の普及推進を行う。 ・ラジオ体操指導者の育成 ・ラジオ体操出前教室の開催 ・ラジオ体操PR活動	○指導者資格取得人数 ・スポーツ推進委員(38人) ・職員(10人) 計48人 ・うち1級指導士(1人)2級指導士(2人) ○ラジオ体操出前教室 ・実施回数(75回) ・参加人数(延べ780人)	B	B
	スポーツ施設整備(運動公園整備事業)	・スポーツ施設の計画的な改修を行い、安全安心に使えるよう維持管理に努める	○山吹運動公園 ・野球場、多目的運動広場整地及び野球場バックネット補修工事 ○里美運動広場 ・野球場整地及びバックネット補修工事 ○大里ふれあい広場 ・野球場防球ネット測量設計委託 ○温水プール ・排気ファン、給水ポンプ等設備修繕工事	B	B

施策の成果 を示す 主な指標	指標名(単位)	H29	H30	R1	担当課 評価	委員会 評価
	チャレンジデー参加率(%)	58.3	59.7	64.4	B	B
	ラジオ体操会(地域でラジオ体操に自主的に取り組むグループ等)の組織数(箇所)	5	3	12	B	B
	スポーツ施設利用者数(人)	340,165	345,619	259,561	B	B

施策の 総合評価	A 期待した成果があった	B 一定の成果があった	C 見直しや改善が必要
事務局評価		○	
委員会評価		○	

課題と 今後の方向	市民のライフステージに応じ、誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも気軽に楽しくスポーツ・レクリエーションに親しめるよう環境整備を進める必要があり、2019年3月に策定した「常陸太田市スポーツ推進計画」に掲げた以下の3つ項目を柱として各種施策に取り組んで行く。 ①子どもたちが将来にわたってスポーツを楽しむための能力と心身の育成を図るための「子どものスポーツ活動の推進」 ②高齢者や障がい者などが年齢や体力等に応じた生涯スポーツ活動と健康増進に取り組むための「スポーツを通じた健康増進」 ③利用者が常に快適に活動できるための「スポーツ施設の整備を適切な管理」
--------------	---

教育行政 評価委員 による意見	・「常陸太田市スポーツ推進計画」に沿って、引き続きの活動及び推進を図られたい。
-----------------------	---

教育委員会施策の点検・評価書(令和元年度事業)

担当課	教育総務課

総合計画 における 位置づけ	基本目標	夢を育み健やかに生きるひとづくり
	政策	夢と生きがいをもって活躍するひとづくり
	基本施策	結婚・定住の促進
		(1) 移住・定住の促進
	施策の概要	・UIターン者への支援。

	事務事業名	事務事業の概要	主な成果	担当課 評価	委員会 評価
施策に対する 事務事業 の概要・ 成果・評価	移住・定住者への奨学資金 返還助成制度	助成対象者に当該年度に返 還した奨学資金の全額、ある いは1/2以内の額を助成す る。	奨学生のうち市内定住者やUターン者にと っては、負担の軽減につながり、有効な 施策に結び付いている。	B	B

施策の成果 を示す 主な指標	指標名(単位)	H29	H30	R1	担当課 評価	委員会 評価
	奨学資金返還助成制度を利用した転入者数	1	3	4	B	B

施策の 総合評価	A 期待した成果があった	B 一定の成果があった	C 見直しや改善が必要
事務局評価		○	
委員会評価		○	

課題と 今後の方向	・チラシや大学窓口の活用した対象者や保護者へのDMの送付など、本制度の周知と利用拡大を積極的に進める。
--------------	---

教育行政 評価委員 による意見	・様々な少子化対策が行われており、若者が地元に戻って来るように、目に見えるかたちで更なるPR活動に努められたい。 ・移住定住が図られるよう、東部地区開発にも期待したい。
-----------------------	---

教育委員会施策の点検・評価書(令和元年度事業)

担当課	文化課

総合計画 における 位置づけ	基本目標	夢を育み健やかに生きるひとづくり
	政策	地域の特性を活かしたコミュニティづくり
	基本施策	市民の地域活動への支援
		(1)地域コミュニティへの支援
施策の概要	・エコミュージアム活動を通じて、潜在的な地域のお宝(地域資源)を発掘し、地域資源の利活用を図ることにより、地域の良さや誇りと愛着心を育む。	

	事務事業名	事務事業の概要	主な成果	担当課 評価	委員会 評価
施策に対する 事務事業 の概要・ 成果・評価	エコミュージアム活動の推進	・自分たちの住んでいる地域にある自然や歴史、文化資源等を確認し、地域の魅力を再認識する「わがまち地元学事業」への取組を支援する。	・令和元年度において、継続1地区、新規3地区が「わがまち地元学事業」に取り組み、地域内を住民同士が探索し、地域の良さを再認識するとともに、地域の将来像を話し合うことにより、地域への愛着意識の向上と住民同士の交流が図られた。	B	B
		・地域資源等を活用した、地域活動(交流事業等)を推進、支援する。	・「わがまち地元学事業」への取り組みを契機とした地域が主体となった地域活動については、7地区で10事業に取り組み、地区内外の参加者やボランティア等との交流や、地域活動の活性化につながった。		

施策の成果 を示す 主な指標	指標名(単位)	H29	H30	R1	担当課 評価	委員会 評価
	「わがまち地元学事業」実施地区数	28	30	33	B	B

施策の 総合評価	A 期待した成果があった	B 一定の成果があった	C 見直しや改善が必要
事務局評価		○	
委員会評価		○	

課題と 今後の方向	・エコミュージアム活動の基本である「わがまち地元学事業」は、町会等の新たな地域活動のきっかけとなる取り組みでもあるため、今後も、取組地区の拡大に向けて、地域訪問や説明会による継続的な推進を行う。 ・地元学実施地区については、次のステップとして、地域資源の整備やそれらを活用した地域活動への取組が図られるよう、地域訪問や説明会による推進を行う。 ・すでに地域活動を行っている地域については、今後も継続して地域主体で取り組めるように側面的な支援を実施するとともに、活動が停滞している地域については、活動再開に向けた働きかけを行う。
--------------	--

教育行政 評価委員 による意見	・エコミュージアム活動により、地域の良さ・誇り・愛着心が十分育まれている。 ・「わがまち地元学事業」の取り組む地区が増えるように、更なる改善に努められたい。 ・エコミュージアム活動後の状況について、今後その効果・検証に努められたい。
-----------------------	---

教育委員会施策の点検・評価書(令和元年度事業)

担当課	教育総務課

総合計画 における 位置づけ	基本目標	暮らしやすく楽しむことのできるまちづくり
	政策	安心・安全なまちづくり
	基本施策	犯罪のないまちづくり
		(1)子どもの安全対策
	施策の概要	・登下校時の安全対策を強化します。

	事務事業名	事務事業の概要	主な成果	担当課 評価	委員会 評価
施策に対する 事務事業 の概要・ 成果・評価	①子供の安全対策強化	登下校時の児童生徒の安全を確保するため、地域子ども安全ボランティアの登録推進や通学路安全点検の実施	地域子ども安全ボランティアの登下校の見守りやあいさつ・声掛け運動、通学路の危険箇所改善により、子どもの安全確保が図られた。	B	B

施策の成果 を示す 主な指標	指標名(単位)	H29	H30	R1	担当課 評価	委員会 評価
	地域子ども安全ボランティア会員数(人)	822	599	612	B	B
	「子どもを守る110番の家」設置数	—	—	489	A	A
	危険箇所改善数	20	16	12	B	B

施策の 総合評価	A 期待した成果があった	B 一定の成果があった	C 見直しや改善が必要
事務局評価		○	
委員会評価		○	

課題と 今後の方向	「地域子ども安全ボランティア」及び「子どもを守る110番の家」など、地域住民の協力を得た安全対策及び警察・県・学校等の関係機関と連携を強化し、道路・工作物・表示等の設置における交通安全並びに防犯対策を図る必要がある。
--------------	--

教育行政 評価委員 による意見	・自転車の乗り方の指導など、担当課と地域住民を巻き込んだ取り組みについて図られたい。 ・学校統廃合により、バス通学になるなど通学環境がかわるため、安全ボランティアを含め更なる安全対策等について講じられたい。
-----------------------	--

参考 教育委員会の活動状況

1 教育委員会教育長・委員について

本市教育委員会は、人格が高潔で、教育、学術及び文化に関し識見を有する者のうちから、市長が市議会の同意を得て任命した教育長と4名の委員により構成されている。
常陸太田市教育委員会委員【令和2年3月31日現在】

職 名	氏 名	任 期
教育長	石川 八千代	平成30年4月1日から令和2年3月31日まで (前教育長の残任期間)
委員 (教育長職務代理者)	中村 和幸	平成29年10月5日から令和3年10月4日まで
委員	稲田 昌孝	平成28年4月1日から令和2年3月31日まで
委員	安西 仁人	平成29年4月1日から令和3年3月31日まで
委員	谷下田 幹子	平成31年4月1日から令和5年3月31日まで

2 教育委員会の活動状況について

定例会、臨時会など、令和元年度における本市教育委員会の主な活動状況は、次のとおりである。

年月日	出席委員数	件 名
平成31年4月1日	5名	協議会 ・教育長及び教育委員紹介 ・教育委員会事務局職員紹介 ・平成31年度市立小学校入学式の出席について
平成31年4月9日	5名	市内小学校入学式
平成31年4月25日	5名	定例会 ・常陸太田市奨学生選考審査会委員の委嘱等について ・常陸太田市公民館長の任命について ・常陸太田市公民館主事の任命について ・常陸太田市公民館運営審議会委員の委嘱について ・常陸太田市スポーツ推進委員の委嘱について ・教育財産（旧山田小学校）の所管換について ・教育財産（旧金郷幼稚園）の所管換について ・平成31年度教育委員会主要事業の概要について
令和元年5月21日	5名	定例会

		・令和元年度常陸太田市一般会計補正予算（第２号）案（教育費関係）の編成に対する意見について ・常陸太田市奨学生選考審査会委員の委嘱について ・常陸太田市社会教育委員の委嘱について ・常陸太田市公民館運営審議会委員の委嘱について ・常陸太田市立図書館協議会委員の任命について ・常陸太田市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について ・常陸太田市社会教育委員会議提言書について ・令和元年度茨城県市町村教育委員会連合会定期総会・講演会日程 ・令和元年度連合会総会について ・緊急市町村教育委員会教育長及び教育委員会研修会の開催について（通知） ・情報誌 E d u N e w s
令和元年６月２７日	５名	定例会 ・常陸太田市学校防災推進委員会設置要綱の一部改正について ・常陸太田市公民館運営審議会委員の委嘱について ・令和元年第２回市議会定例会（６月定例会）一般質問要旨及び答弁要旨について ・令和元年度学校経営概要及び令和元年度幼稚園要覧について
令和元年７月１６日	５名	定例会 ・常陸太田市立学校教職員ストレスチェック実施要項の制定について ・常陸太田市公民館運営審議会委員の委嘱について ・令和２年度使用小・中学校教科用図書採択について
令和元年８月２３日	５名	定例会 ・消費税率及び地方消費税率の改定に伴う関係条例の整備に関する条例の意見について ・常陸太田市教育委員会の所管に属する職員の任免について

		・常陸太田市公民館運営審議会委員の委嘱について ・常陸太田市運動部活動の方針の改定について ・教育財産（里美文化センター入口）の所管換について
令和元年9月26日	5名	定例会 ・常陸太田市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について ・常陸太田市立学校等防犯カメラの設置、管理及び運用に関する要項の制定について ・令和元年第3回市議会定例会（9月定例会）一般質問要旨及び答弁要旨について
令和元年10月2日	5名	学校訪問（久米幼稚園、久米小学校、水府小・中学校、金砂郷中学校）
令和元年10月24日	5名	定例会 ・常陸太田市指定有形文化財の指定解除について ・常陸太田市学校等給食費徴収規則の制定について ・令和元年度常陸太田市教育振興大会の概要（案）について
令和元年10月31日	5名	学校訪問（金砂郷小学校、郡戸小学校、里美小・中学校）
令和元年11月22日	5名	定例会 ・常陸太田市公の施設に係る指定管理者の指定について ・令和元年度常陸太田市一般会計補正予算（第7号）案（教育費関係）の編成に対する意見について ・令和元年度（平成30年度対象）教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書について ・水府小・中学校一貫教育学校竣工式典について ・令和2年成人式開催計画について
令和元年12月18日	5名	・県費負担教職員の懲戒処分の内申について
令和元年12月25日	5名	常陸太田市教育振興大会
令和元年12月25日	5名	定例会 ・教育財産（天下野公民館）の所管換について ・常陸太田市いじめ防止基本方針の改訂（案）につ

		いて ・令和元年第4回市議会定例会（12月定例会）一般質問要旨及び答弁要旨について
令和2年1月12日	5名	令和2年成人式
令和2年1月22日	5名	定例会 ・令和元年度市立中学校卒業式の出席について
令和2年2月21日	5名	定例会 ・常陸太田市いじめ問題対策連絡協議会等の設置に関する条例の意見について ・常陸太田市公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の意見について ・令和元年度常陸太田市一般会計補正予算（第10号）案（教育費関係）の編成に対する意見について ・令和2年度常陸太田市一般会計予算案（教育費関係）の編成に対する意見について ・令和2年度常陸太田市立幼稚園、小・中学校学校閉庁の実施について
令和2年2月28日	5名	臨時会 ・新型コロナウイルス感染症対策について
令和2年3月17日	5名	定例会 ・県費負担教職員の任免等の内申について
令和2年3月31日	5名	臨時会 ・常陸太田市教育委員会事務局組織規則の一部改正について ・常陸太田市教育委員会職員の職名規則の一部改正について ・常陸太田市立小中学校の教育職員の在校等時間の上限等に関する方針の策定について ・常陸太田市立小中学校の教育職員の在校等時間の上限等に関する方針に関する規則の制定について ・常陸太田市教育委員会障害者活躍推進計画の策定について ・常陸太田市立学校学校評議員設置要綱の一部改正について

		・常陸太田市就学援助実施要綱の一部改正について ・学校医の委嘱について ・常陸太田市学校教育指導員に関する規則の一部改正について ・常陸太田市英語検定料助成金交付要綱の一部改正について ・常陸太田市招致外国青年任用規則の一部改正について ・常陸太田市公民館運営審議会委員の委嘱について ・常陸太田市スポーツ施設整備計画の策定について ・常陸太田市学校等給食費徴収規則の一部改正について ・常陸太田市教育委員会の所管に属する職員の任免について ・常陸太田市いじめ防止基本方針（改定版）の策定について ・令和２年第２回市議会定例会（３月定例会）一般質問要旨及び答弁要旨について ・峰山中学校区小学校、金砂郷中学校区小学校の学校統合について（経過報告） ・新型コロナウイルス感染症対策に係る当面の教育活動について
令和元年度 教育委員会の会議開催状況		
1	開催回数	16回（定例会１２回、臨時会３回、協議会１回）
2	議案件数	49件
3	報告件数	0件
4	選挙件数	0件

令和２年度（令和元年度事業）
教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価に関する報告書

令和２年 11 月
常陸太田市教育委員会